

4-5-3-6 保全すべき種の確認状況

① 保全すべき種の選定基準

確認種のうち、表 4-5-11 に示す選定基準に該当する種を保全すべき種として選定した。

表 4-5-11 保全すべき種の選定基準

区分	選定方法に係る法令・文献の名称	発行編集	発行年	選定基準	番号
法令	文化財保護法	文化庁	1950	特別天然記念物	①
				国指定天然記念物	
	山梨県文化財保護条例	山梨県	1956	県指定天然記念物	
	大月市文化財保護条例	大月市	1976	市指定天然記念物	②
	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律	環境庁	1993	国内希少野生動植物種 国際希少野生動植物種	
山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例	山梨県	2007	指定希少野生動植物種		
文献	環境省レッドリスト 2017	環境省	2017	絶滅	③
				野生絶滅	
				絶滅危惧 I 類	
				絶滅危惧 IA 類	
				絶滅危惧 IB 類	
				絶滅危惧 II 類	
				準絶滅危惧	
				情報不足	
	絶滅のおそれのある地域個体群	④			
	2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅の恐れのある野生生物		山梨県	2005	絶滅
					野生絶滅
					絶滅危惧 IA 類
					絶滅危惧 IB 類
					絶滅危惧 II 類
準絶滅危惧					
情報不足					
絶滅のおそれのある地域個体群					

② 保全すべき種の確認状況

現地調査により、表 4-5-11 の選定基準に該当する種として哺乳類 7 種（平成 28 年：7 種、平成 29 年：7 種）、鳥類 4 種（平成 28 年：3 種、平成 29 年：1 種）、爬虫類 3 種（平成 28 年：3 種、平成 29 年：3 種）、昆虫類 3 種（平成 28 年：3 種、平成 29 年：1 種）を確認した。確認状況は、表 4-5-12、確認地点は、図 4-5-2～図 4-5-9 に示すとおりである。なお、鳥類のうち猛禽類については、「4-7 猛禽類」での記載とした。

環境影響評価補正評価書時の保全対象種であるカワネズミやタカチホヘビ、トゲアリ等の生息が確認された一方で、オシドリとオオムラサキの 2 種については再確認されなかった。また、キクガシラコウモリやトラツグミ、シロマダラ、クロマルハナバチ等の 10 種が新たに確認された。

表 4-5-12 保全すべき種の確認状況（陸上動物）

分類群	種名	選定基準				評価書	事後調査	
		①	②	③	④		H28	H29
哺乳類	カワネズミ				N	●	●	●
	キクガシラコウモリ				N		●	●
	ヒナコウモリ科の一種 (sp. 1)			注 1	注 1		●	●
	ヒナコウモリ科の一種 (sp. 3)				注 2		●	●
	ムササビ				N	●	●	●
	カヤネズミ				N	●	●	●
	ツキノワグマ		国際		N	●	●	●
鳥類	オシドリ			DD		●		
	クイナ				DD		●	
	キバシリ				DD			●
	トラツグミ				NT		●	
	クロジ				DD		●	
爬虫類	タカチホヘビ				DD	●	●	●
	シマヘビ				VU	●	●	●
	シロマダラ				DD		●	●
昆虫類	オオムラサキ			NT	N	●		
	オナガミズアオ			NT			●	
	トゲアリ			VU		●	●	●
	クロマルハナバチ			NT			●	
合計		0 種	1 種	6 種	15 種	9 種	16 種	12 種

選定基準は、表 4-5-11 の番号 (①～④) に対応する。

①特別：特別天然記念物、天然：天然記念物、県天：山梨県指定の天然記念物、市天：大月市指定天然記念物

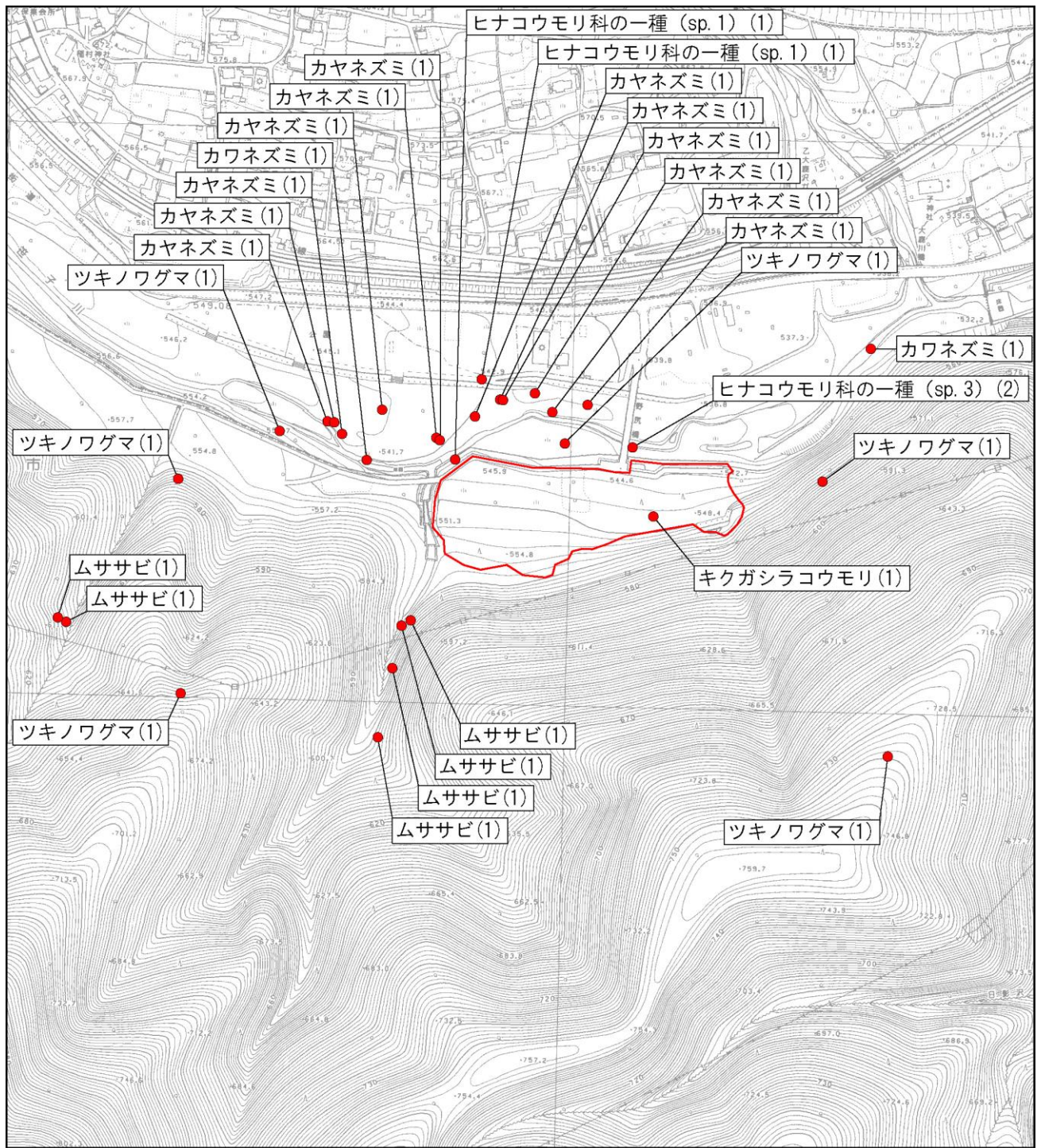
②国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種、指定：指定希少野生動植物種

③EX：絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

④EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：地域個体群、N：要注目種

注 1：ヒナコウモリ科の一種 (sp. 1) は、周波数が 20～25kHz にピークを持つ FM/QCF 型パルスであったことから、ヤマコウモリ (③：VU、④：NT)、ヒナコウモリ (④：NT) の可能性がある。

注 2：ヒナコウモリ科の一種 (sp. 3) は、周波数が約 50kHz にピークを持つ FM 型パルスであったことから、カグヤコウモリ (④：VU)、モモジロコウモリ (④：NT) 等の可能性がある。



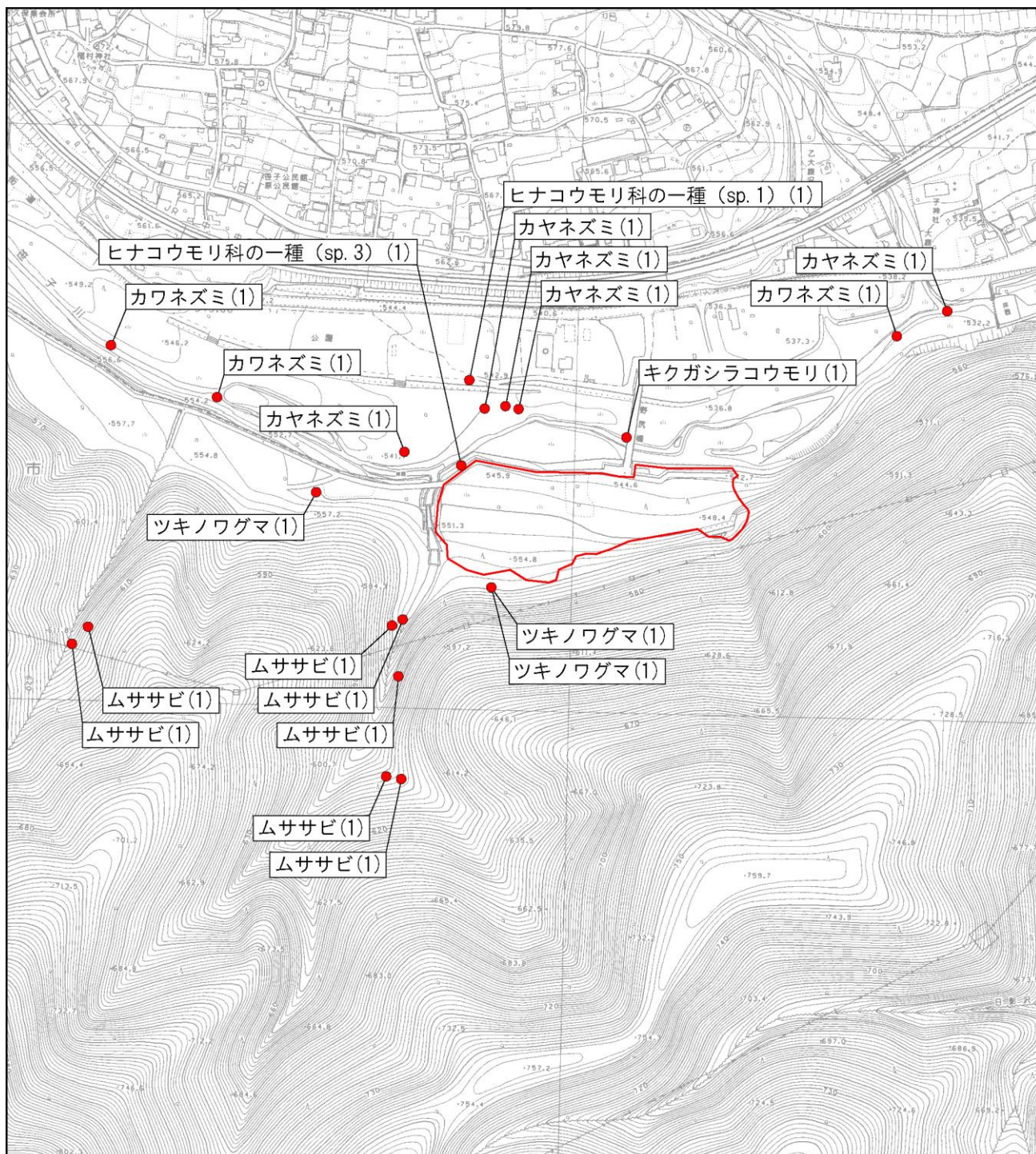
凡 例

: 事業区域

● : 確認地点



図 4-5-2 保全すべき哺乳類の確認位置図 (平成 28 年度)



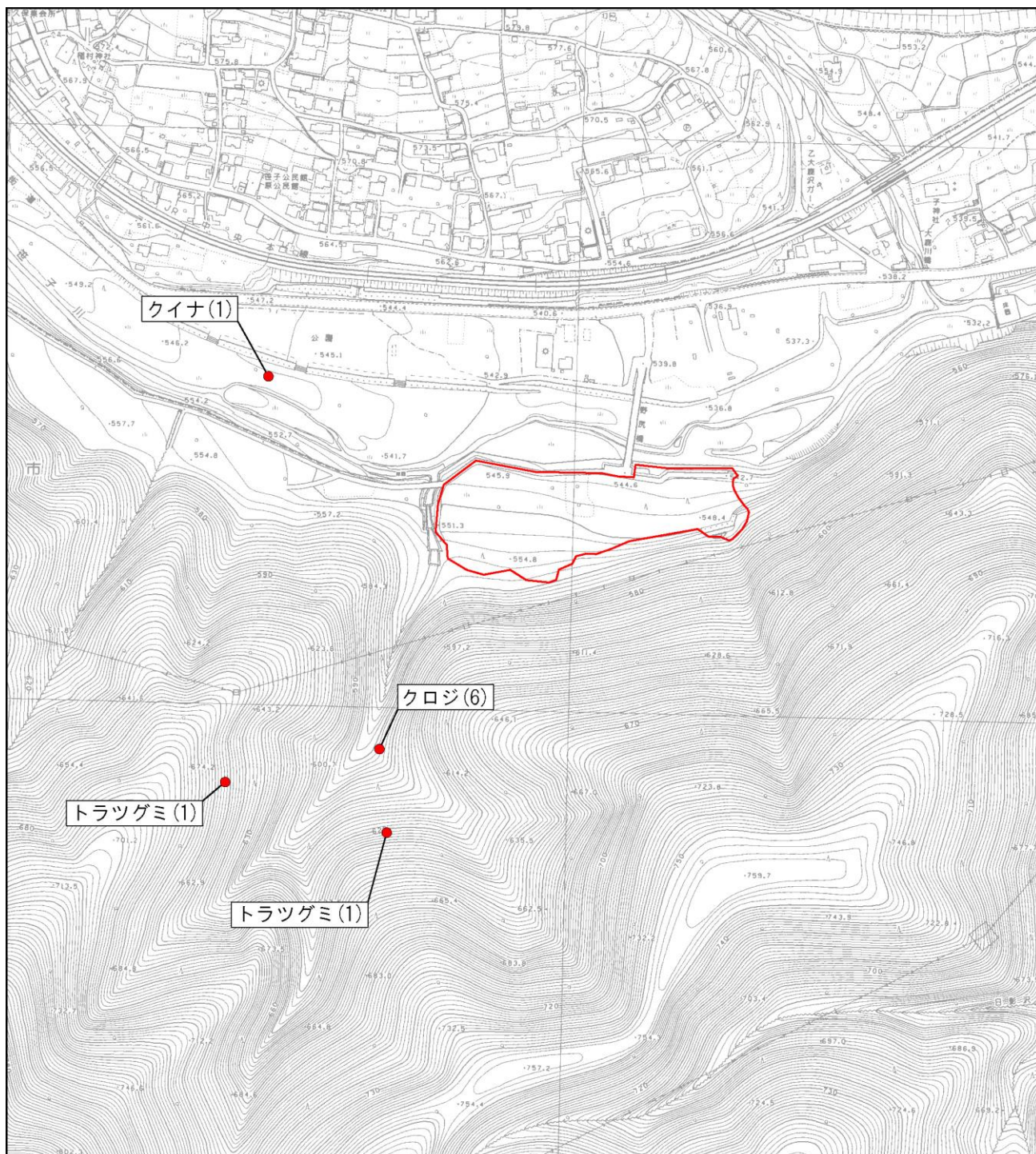
凡 例

: 事業区域

● : 確認地点



図 4-5-3 保全すべき哺乳類の確認位置図 (平成 29 年度)



凡 例

- : 事業区域
- : 確認地点



図 4-5-4 保全すべき鳥類の確認位置図(平成 28 年度)